

「令和7年度のメインテーマ」かなりや組（3歳児）、うぐいす組（4歳児）、こまどり組（5歳児）

※幼児期の教育は「生活の学び」と「遊びの学び」です。「生活の学び」は保育園生活を通して、生活の自立をめざします。「遊びの学び」、特に体験を通した遊びは、こどもの感覚を豊かにし、小学校教育の基礎となります。そのためには、やらされるのではなく、「やりたくなる体験」が重要です。当園のわくわく保育は、こどもが体験（遊び）の中でめばえた興味関心を広げたり深めたりする保育です。こどもの姿で保育が変化するため、こどもも保育者も共に“わくわく”するのです。保護者の皆様もわくわくしていただけたらうれしいです。3歳以上児クラスは、未満児クラスで培った五感の豊かさを土台として、主体的に関わり、友との関わりで興味を広げられる体験を大切にします。

テーマ「風による現象 “とぶと強さ”」

感じる⇒風により葉っぱがとんだり、体が押されるなどの体験を通して、風の強さや風の向きがあることを知る。

遊びを考え、取り組む⇒風の性質を生かした遊び（レジ袋など身近な素材を用いる）を考え、試し、作り直すなど試行錯誤の中で遊びを発展させる中で、風の性質を知る。

テーマ「命～カブトムシ飼育～」

チャリティーでは、カブトムシの採集だけではなく、カブトムシを卵から育て、幼虫の飼育、成虫の飼育に取り組んでいます。

成虫⇒玄関に放したり、園庭につれ出したり、カブトムシ用の遊び場を廃品を用いて作ったりして、ふれあいを楽しみます。

成虫の死⇒成虫になって数週間の命にふれます。死の概念は幼いので乏しいですが、この経験は数年先になる「死の理解」へとつながる大切な体験です。

たまごの誕生⇒成虫から受け継がれた命の誕生を感じます。

幼虫からさなぎへ⇒小さなたまごから幼虫が育つ様子、さなぎに変化する様子を観察し、命が育まれていることを体験します。

成虫の誕生⇒大好きなカブトムシとまた遊ぶことができる喜びを全身で味わいます。ゲームやおもちゃと違って、自分の思い通りにはなりがたい生き物とのふれあいを体験します。

テーマ「太陽と影」

感じる⇒遊びの中で、影の長さや影の向き、ひなたとひかげの違いがあることを知る。

遊びを考え、取り組む⇒かげを活かした遊び、影踏みや影絵遊びなどに取り組むことで、影の性質を知る。

深い学び⇒窓から差し込む光による影の長さを知るために、目印を付けたり、人の影が長くなったり短くなったりすることを人の影の型を取るなどの体験によって、より具体的に知るようになる。

テーマ「キッズラボ」

幼児教育も学校教育も学びの連続性が大切です。

幼児教育の場合は「体験と挑戦」。

体験して身に付けた知識や技能を使いこなし、試行錯誤や仲間との協同する中で育まれる人間性は生きる力の基礎となります。

こどもたちの主体的な活動の変化を楽しむには、終わらない活動環境が大切になります。

奥の部屋を「キッズラボ」として、主体的な制作活動をこどもたちの思うままに継続できる環境を作りました。

自分たちに必要な道具は自分たちで管理し、不足した材料は自分たちで集めるなど、より主体的に取り組むことができる環境により、一人一人が豊かに成長してくれることを願っています。